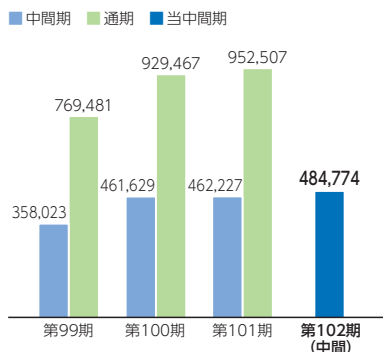


第102期 中間報告書

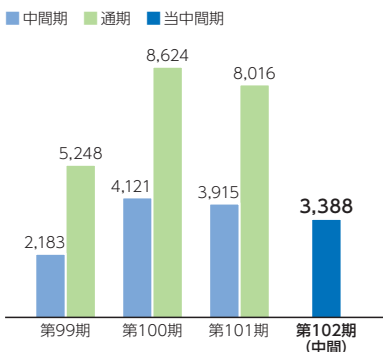
2019年4月1日から2019年9月30日まで

■ 財務ハイライト (連結)

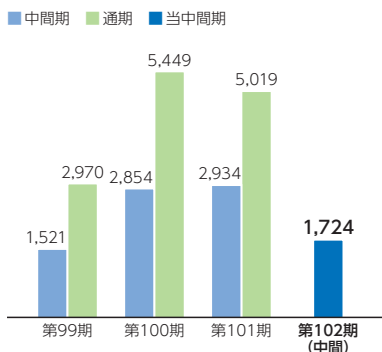
売上高 (百万円)



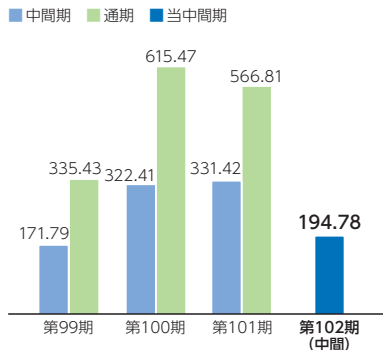
経常利益 (百万円)



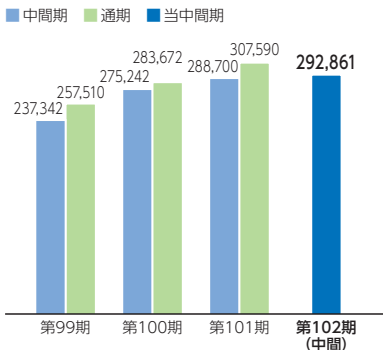
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



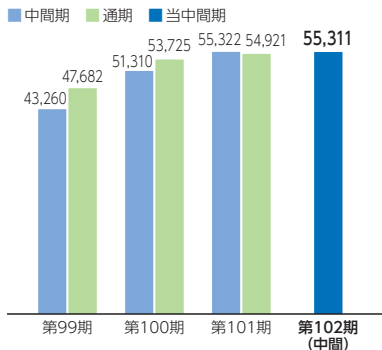
1株当たり当期純利益 (円)



総資産額 (百万円)



純資産額 (百万円)



※ 1株当たり当期純利益について
第99期の期首に株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

C O N T E N T S

財務ハイライト (連結)	1	業績予想/配当の状況/株式の状況	6
株主の皆さまへ	2	神鋼商事グループ海外ネットワーク	7・8
事業セグメント別の概況	3・4	トピックス	9
連結決算	5	会社データ/国内事業所及び子会社	10

■ 株主の皆さまへ

企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申しあげます。

ここに、第102期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の当社グループの現況等につき、ご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申しあげます。

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）における世界経済は、米国経済が堅調に推移しているものの、米中の貿易摩擦に端を発した中国経済の減速等により先行き不透明感が高まりました。わが国経済は、雇用・所得環境が着実に改善している一方、輸出や設備投資には弱さがみられ、緩やかな回復基調となったものの、伸びは鈍化しております。

このような環境の下、海外では、米国の線材二次加工拠点である「Grand Blanc Processing, L.L.C.」において設備の増強を行い、生産能力の向上をはかってまいりました。

中国ではアルミコイルセンター「蘇州神商金属有限公司」での設備増強を実施し、中国での新規の受注活動に注力してまいりました。国内では非鉄金属セグメントにおいて、グループシナジーの深化による一層の営業力強化を図ることを目的に、連結子会社である「コベルコ筒中トレーディング株式会社」と「中山金属株式会社」を合併し、「神鋼商事メタルズ株式会社」として2019年7月1日より営業を開始いたしました。また、全社的な取組みとして、コーポレート・ガバナンスの強化を目的に、リスク管理協議会を「リスクマネジメント委員会」と改名し、「経営審議会」の諮問機関と位置づけるとともに、ESG活動のさらなる推進のため、「CSR基本方針・行動指針」を策定し、「CSR委員会」を新たに設置するなど社内体制の整備を進めてまいりました。このような活動を通じて、メーカー商社の特色を活かしたビジネスを積極的に推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,847億74百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益は35億84百万円（同0.5%増）となりましたが、経常利益は33億88百万円（同13.5%減）となり、特別損失として投資有価証券評価損等を596百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億24百万円（同41.2%減）となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株あたり55円とし、お支払い日を12月6日とさせていただきます。

なお、1株あたりの年間配当金は110円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2019年12月



代表取締役社長 森地 高文

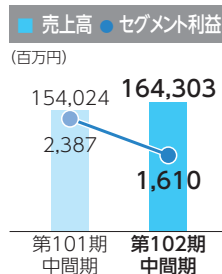
■ 事業セグメント別の概況

鉄鋼セグメント

鋼板製品の国内向けは、取扱量・価格ともに上昇しましたが、輸出向けは、取扱量が横ばいとなり価格は下落しました。線材製品は国内外ともに取扱量は概ね横ばいでしたが、価格が上昇しました。この結果、売上高は1,643億3百万円（前年同四半期比6.7%増）となりましたが、海外子会社等の減益の影響により、セグメント利益は16億10百万円（同32.5%減）となりました。



線材製品



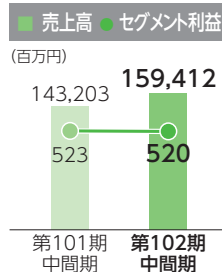
鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は取扱量が増加し、価格も上昇しました。冷鉄源、チタン原料は取扱量が増加しました。合金鉄は、取扱量は横ばいでしたが、価格が下落しました。

この結果、売上高は1,594億12百万円（前年同四半期比11.3%増）となりましたが、海外子会社の取扱量減少の影響により、セグメント利益は5億20百万円（同0.6%減）となりました。



豪州MORANBAH NORTH

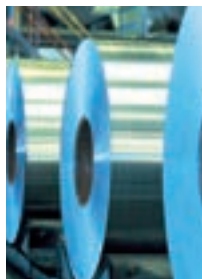


非鉄金属セグメント

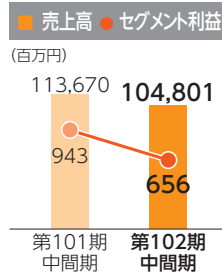
銅製品は空調用銅管の取扱量が堅調に推移しましたが、端子コネクターや半導体向け銅板条の取扱量は減少しました。アルミ製品は自動車向けアルミ板条の取扱量が増加しましたが、鉄道車両向けならびに空調向けアルミ押出材の取扱量が減少しました。

非鉄原料はアルミ地金・アルミ再生塊の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,048億1百万円（前年同四半期比7.8%減）となり、セグメント利益は6億56百万円（同30.4%減）となりました。



アルミコイル



機械・情報セグメント

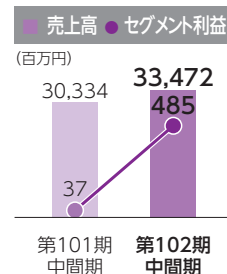
機械製品はゴムタイヤ機械、産業用ブレーキ等の取扱いが減少しましたが、大型圧縮機、電池用材料、熱処理炉等の取扱いは増加しました。

情報関連商品はハードディスク関連機器やPC部品等の取扱いは増加しましたが、液晶電子材料等の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は334億72百万円（前年同四半期比10.3%増）となり、セグメント利益は前年同四半期比大幅増加の4億85百万円となりました。



オイルフリーコンプレッサ



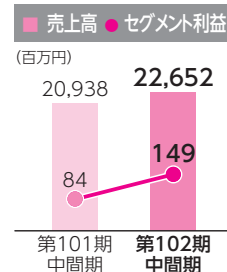
溶材セグメント

溶接材料は造船、建築鉄骨、及び建設機械向けの取扱量は堅調に推移しました。輸出関連は韓国向けエネルギー案件を中心に堅調に推移しました。また、溶接関連機器は汎用溶接機の取扱いが減少し、鉄骨溶接ロボットシステムの取扱いは堅調に推移しました。生産材料は、溶剤原料を中心に前年同期比横ばいで推移しました。

この結果、売上高は226億52百万円（前年同四半期比8.2%増）となり、セグメント利益は1億49百万円（同77.1%増）となりました。



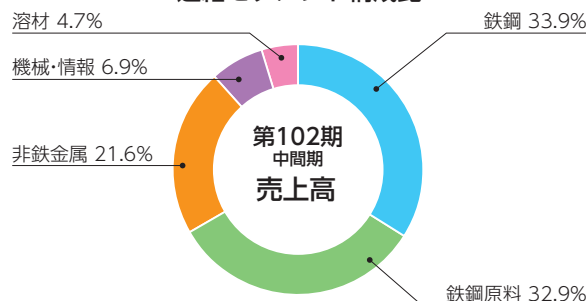
溶接ロボットシステム



連結セグメント構成

セグメント	売上高	セグメント利益
鉄 鋼	164,303	1,610
鉄 鋼 原 料	159,412	520
非 鉄 金 属	104,801	656
機 械 ・ 情 報	33,472	485
溶 材	22,652	149
そ の 他	272	△16
(消去または全社)	△140	△18
合 計	484,774	3,388

連結セグメント構成比



※上記連結セグメント構成比には、報告セグメントに属さないその他の売上高及び内部取引消去額を含んでおりません。

■ 連結決算

■ 四半期貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第101期 2019年3月31日現在	第102期中間期 2019年9月30日現在
資産の部		
流動資産	265,373	250,596
固定資産	42,217	42,265
有形固定資産	8,758	8,934
無形固定資産	699	746
投資その他の資産	32,760	32,584
資産合計	307,590	292,861
負債の部		
流動負債	224,174	208,375
固定負債	28,494	29,174
負債合計	252,669	237,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,645	2,608
利益剰余金	42,133	43,371
自己株式	△17	△17
その他の包括利益累計額	2,241	1,547
非支配株主持分	2,266	2,151
純資産合計	54,921	55,311
負債純資産合計	307,590	292,861

(百万円未満切捨て)

■ 四半期損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第101期中間期 2018年4月1日~2018年9月30日	第102期中間期 2019年4月1日~2019年9月30日
売上高	462,227	484,774
売上原価	447,197	469,006
売上総利益	15,030	15,767
販売費及び一般管理費	11,462	12,182
営業利益	3,567	3,584
営業外収益	1,435	1,083
営業外費用	1,087	1,279
経常利益	3,915	3,388
特別利益	152	39
特別損失	2	596
税金等調整前四半期純利益	4,065	2,831
法人税、住民税及び事業税	1,135	1,039
法人税等調整額	△19	△3
四半期純利益	2,949	1,796
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,934	1,724

(百万円未満切捨て)

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第101期中間期 2018年4月1日~2018年9月30日	第102期中間期 2019年4月1日~2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,029	5,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△758	△1,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	975	2,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	△246	△163
現金及び現金同等物の増減額	△4,059	5,461
現金及び現金同等物の期首残高	19,022	5,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,962	11,013

(百万円未満切捨て)

業績予想・配当の状況・株式の状況

2020年3月期の連結業績予想

2019年4月1日～2020年3月31日

	前期実績	今期予想	対前期増減率
売上高	952,507百万円	980,000百万円	2.9%
営業利益	7,922百万円	6,900百万円	△12.9%
経常利益	8,016百万円	7,000百万円	△12.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,019百万円	4,600百万円	△8.3%
※1株当たり当期純利益	566.81円	519.48円	△8.3%

※上記の今期予想は2019年10月31日開示の予想数値であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

株式の状況

発行可能株式総数 27,000,000株

発行済株式の総数 8,855,882株
(自己株式4,680株を除く)

株主数 3,666名
(前事業年度末比48名増)

大株主（上位10名）

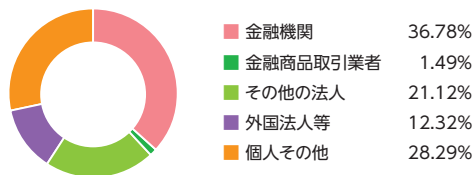
株主名	持株数（株）	持株比率（%）
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託神戸製鋼所口)	1,906,200	21.52
株式会社神戸製鋼所	1,179,118	13.31
神商取引先持株会	756,600	8.54
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	196,400	2.22
神鋼商事従業員持株会	190,131	2.15
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	175,000	1.98
シンフォニアテクノロジー株式会社	150,000	1.69
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	118,899	1.34
株式会社三菱UFJ銀行	109,280	1.23
株式会社三井住友銀行	103,429	1.17

配当の状況

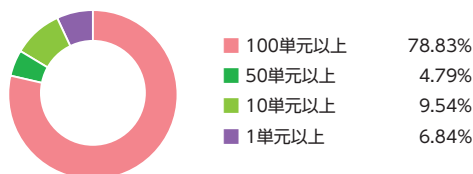
	1株当たり配当金（円）			配当金総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （年間） （%）
	中間期末	期末	年間			
2020年3月期	55.00	55.00 （予想）	110.00 （予想）	—	—	—
2019年3月期	55.00	55.00	110.00	974	19.4	1.9
2018年3月期	45.00	65.00	110.00	974	17.9	2.0
2017年3月期	4.00	60.00	—	885	29.8	2.0

※2016年10月1日付けで、当社普通株式について、単元株式数の変更（1,000株から100株に変更）及び株式併合（10株を1株に併合）を実施しましたので、2017年3月期の年間配当金は「—」と記載しております。

所有者別株式分布状況

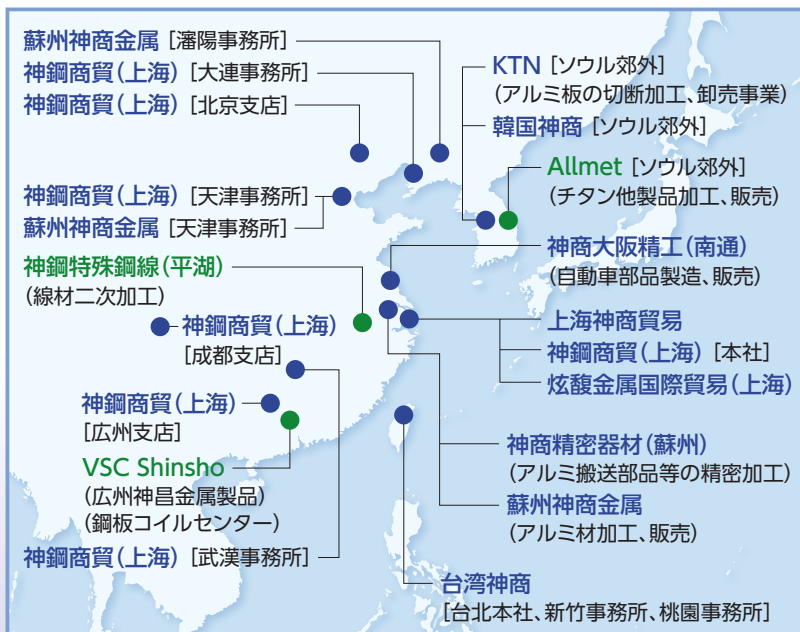


所有株数別株式分布状況

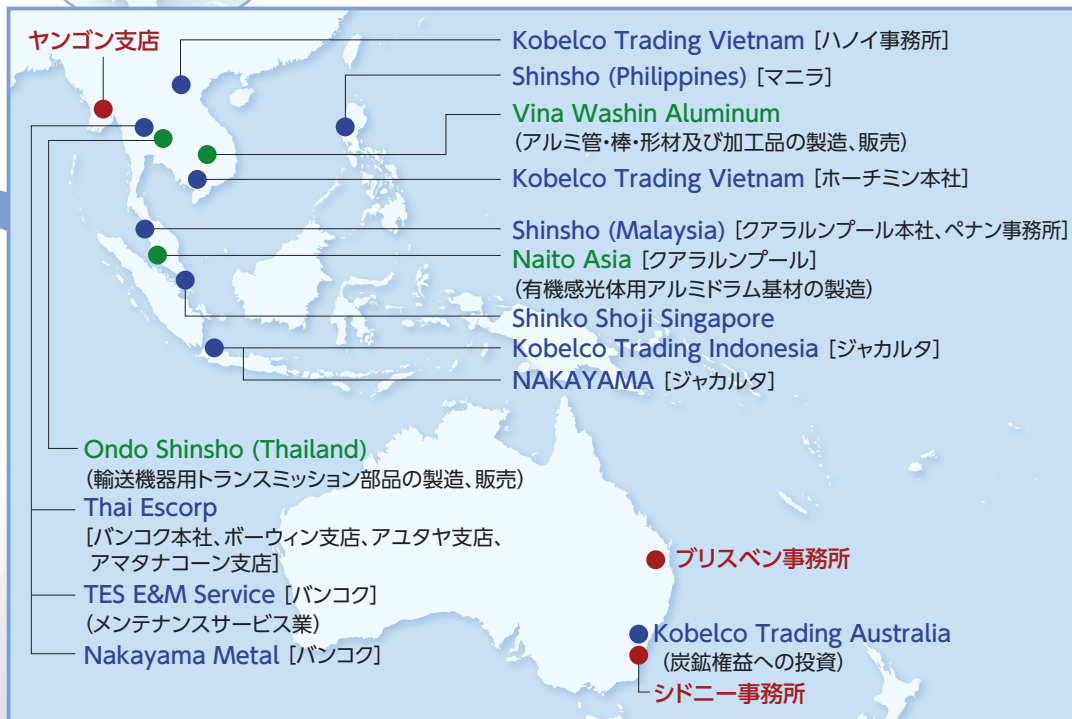
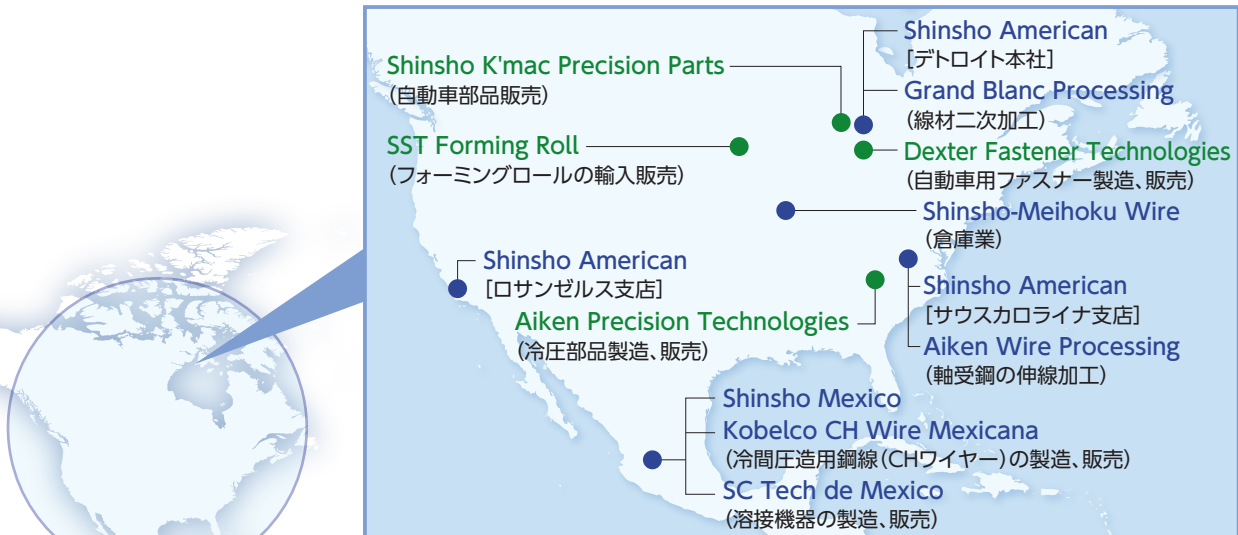


(ご参考)

神鋼商事グループ海外ネットワーク (2019年9月30日現在)



- 海外事業所
- 主要子会社
- 主要関連会社



TOPICS 1 「Grand Blanc Processing, L.L.C.」 酸洗設備を増強

米国の線材二次加工拠点である「Grand Blanc Processing, L.L.C. (以下、GBP)」において酸洗設備の増強を行い、生産能力の向上をはかってまいりました。GBPは神商アメリカンがメジャー出資する線材・線材製品の二次加工会社として、日系自動車部品メーカーの増大するニーズに対応しております。自動車部品メーカーのファスナー用素材を中心に受注が拡大しており、今回の設備増強を通じて、能力向上、生産性向上、品質改善に取り組み、積極的に対応してまいります。



工場内 酸洗設備の様子



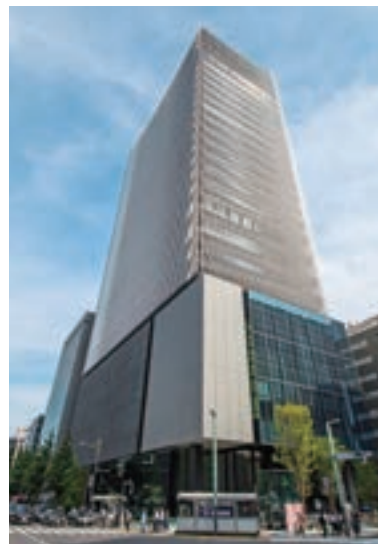
GBP入口正面の様子

TOPICS 2 東京本社が東京メトロ京橋駅近くのビルへ移転

神鋼商事株式会社・東京本社は、日本橋にあった榮太郎ビルからオフィスを移転し、9月17日より営業を開始しました。東京駅八重洲中央口から徒歩5分の場所です。新オフィスは、東京メトロ京橋駅・JR東京駅に近い新築ビル、ミュージアムタワー京橋の10階～12階です。神鋼商事グループ会社である神商鉄鋼販売株式会社、神商非鉄株式会社も同ビルに入居しました。Communication→Co-work→Creativeをコンセプトに、オフィス空間全体を通じて「新しい価値の創造」をサポートします。明るく現代的なオフィスレイアウト・環境となっております。



天井が高く窓も大きく開放感があるオフィス



東京本社が入るミュージアムタワー京橋

■ 会社データ (2019年9月30日現在)

■ 会社概要

設立	1946年11月12日
発行済株式総数	8,860,562株
資本金	5,650,281,250円
主要取扱品目	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、 情報産業関連商品、溶材

■ 役員

取締役及び監査役	代表取締役社長	森地高文
	代表取締役	後藤隆
	代表取締役	加藤宏寛
	代表取締役	渡辺彰雄
	取締役	松田大西
	取締役	向井健児
	取締役	小宮山恭也
	取締役	阪本清司
	監査役(常勤)	大城誠市
	監査役(常勤)	前田芳明
	監査役	浄弘彦浩
	監査役	金子浩

執行役員	※ 社務執行役員	長 森地高文
	※ 専務執行役員	後藤宏寛
	※ 専務執行役員	加藤寛
	※ 専務執行役員	渡辺彰雄
	※ 専務執行役員	松田大西
	※ 専務執行役員	向井健児
	※ 専務執行役員	松原美弘
	※ 専務執行役員	牟田智人
	※ 専務執行役員	足達雅悟
	※ 専務執行役員	西村正人
	※ 専務執行役員	松林真也
	※ 専務執行役員	吉田浩司
	※ 専務執行役員	田中泰幸
	※ 専務執行役員	高部章
	※ 専務執行役員	渡部信次
	※ 専務執行役員	浦出

(注)1 小宮山 司及び阪本 清の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、株式会社東京証券取引所に独立役員として届出ております。

(注)2 浄弘 明彦及び金子 浩子の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

(注)3 執行役員のうち、上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

■ 国内事業所 及び 子会社

事業所

大阪本社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
東京本社	東京都中央区京橋一丁目7番2号
名古屋支社	名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
神戸支社	神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号
九州支社	福岡市博多区博多駅中央街1番1号
支店	中国(広島)、加古川、静岡、北陸(富山)、 東北(仙台)、札幌
出張所	熊本、徳山、岐阜

子会社

神商鉄鋼販売株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
森本興産株式会社	大阪市西区新町一丁目11番21号
神商非鉄株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
神鋼商事メタルズ株式会社	東京都目黒区下目黒二丁目1番14号
株式会社マツポー	東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門33森ビル4F
アジア化工株式会社	大阪市中央区伏見町三丁目2番4号 淀屋橋戸田ビル
エスシーウエル株式会社	大阪市淀川区西中島四丁目6番17号
神商ビジネスサポート株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
(お問合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.shinsho.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

最新の当社IR情報等をご覧ください。



▶ 神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp/>



〒541-8557 大阪市中央区北浜二丁目6番18号
電話 (0120) 580-217
<http://www.shinsho.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。